

マタイ 45

見いだされた羊として 見いだすためにこそ

マタイ福音書18:12～14

迷い出た一匹の羊

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 迷い出た羊のたとえ 12～14

II. 失われた羊・イスラエル

III. まとめと適用

見いだされた羊として
見いだすためにこそ



イスラエルの羊



0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



メシアの活動は、弟子訓練の最後の段階へ!!

- 主イエスは、**教会**の礎を築き始められている
→ 訓練された使徒たちが、**教会**の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
- 命を狙われ、イエスは各地を巡りつつ教えられた。
→ 弟子訓練もいよいよ終盤に!!

メシアが選んだ十二弟子は、イスラエル代表



Ⅰ. 迷い出た一匹の羊

マタイ福音書18:12～14

羊の特徴

- 人類の最古の家畜
- 群れで密集して行動。
- 単体ではとても弱い。

リーダーが必須

【山羊の特徴】…羊と比較して

- 独立心が強い。気性が荒い。
- 警戒心が強い。生存能力は高い。
- 羊と混ぜると先導役に。



羊と山羊の群れ

聖書における羊とは？

- 家畜として造られた(創世記1:24)
- 最初に飼育された家畜
 - 最初の動物の犠牲のささげ物(創世記4:2)
- 始祖アブラハムは、羊飼い(創12:16)
- イスラエルは、羊を飼う者(創世記46:32)
- **イスラエルは羊。真の羊飼いは主。**

創 48:15 彼はヨセフを祝福して言った。「私の先祖アブラハムとイサクが、その御前に歩んだ神よ。今日のこの日まで、ずっと**私の羊飼い**であられた神よ。」

本編 一匹の迷い羊 マタイ18:12

あなたがたはどう思いますか。もしある人に羊が百匹*いて、そのうちの一匹が迷い出たら、その人は九十九匹を山*に残して、迷った一匹を捜しに出かけないでしょうか。

*人間一人で管理できる最大数。

*“山”は安全な場所 …“山の上の町”

■主イエスのたとえの原則

➡当時の誰もが知ってる“常識”

■自分の羊に愛情を注ぐのが、羊飼い。

…一匹の羊の大切さ(IIサムエル12章)



荒野の羊

本編

羊飼いの喜び マタイ18:13

まことに、あなたがたに言います。もしその羊を見つけたなら、その人は、迷わなかった九十九匹の羊以上にこの一匹を喜びます。

■失われた羊は、第一にイスラエル
「わたしは、イスラエルの家の**失われた羊たち**以外のところには、遣わされていません。マタ 15:24 」

「むしろ、イスラエルの家の**失われた羊たち**のところに行きなさい。マタイ10:6」



並行記事

お祝い ルカ15:5～6

見つけたら、喜んで羊を肩に担ぎ、家に戻って、友だちや近所の人たちを呼び集め、『一緒に喜んでください。いなくなった羊を見つけたから』と言うでしょう。

■ザアカイの救い ルカ19:9～10

「今日、救いがこの家に来ました。この人も**アブラハムの子**なのですから。人の子は、**失われた者**を捜して救うために来たのです」

■不信仰に陥っていた**イスラエル**こそ、
迷える子羊(第一の定義)



本編

小さい者たち マタイ18:14

このように、この小さい者たち*の一人が滅びることは、天におられるあなたがたの父のみこころではありません。

＊第一に、神の民イスラエル。

その中のさらに弱い立場の者たち。

…子どもたち。主イエスの弟子たち。

■主の愛は、ご自身の民イスラエルのさらに弱い立場の者たちに。

➡そのおこぼれは、私たち異邦人にも。



荒野の羊



Ⅱ. 失われた羊・イスラエル

荒野の羊

イスラエルの牧者なる主

■ ヤコブの祝福 創 48:15

彼はヨセフを祝福して言った。「私の先祖アブラハムとイサクが、その御前に歩んだ神よ。今日のこの日まで、ずっと**私の羊飼**いであられた神よ。」

■ ヤコブ(イスラエル)が、
長子権を与えたヨセフを祝福。

■ 主が、イスラエルの羊飼い。



荒野の羊

イスラエルの指導者の使命

■ 相続地を断念したモーセの願い 民27:16～17

「すべての肉なるものの霊をつかさどる神、

【主】よ。一人の人を会衆の上に定め、彼が、彼らに先立って出て行き、先立って入り、また彼らを導き出し、導き入れるようにしてください。

【主】の会衆を、**羊飼いのいない羊の群れ**のようにしないでください。」

■ モーセに代わり、ヨシュアが指導者に任命。

主の羊を牧する ➡ イスラエルの指導者の使命



荒野の羊

イスラエル指導者の罪と民の墮落

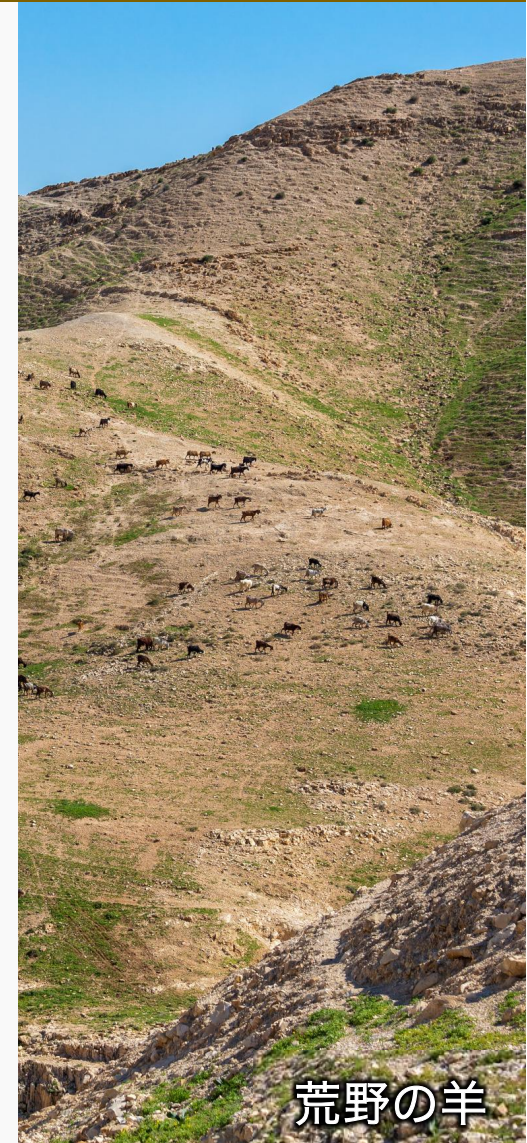
■ 北王国の王へのミカヤの預言 | 列王22:17

「彼は答えた。「私は全イスラエルが山々に散らされているのを見た。まるで、**羊飼いのいない羊の群れ**のように。そのとき【主】はこう言われた。『彼らには主人がいない。彼らをそれぞれ自分の家に無事に帰らせよ。』」

■ イスラエルは、偶像礼拝の罪で、南北に分断。

➡ 北王国では、歴代の王が偶像礼拝へ邁進。

➡ 南王国でも、王の多数は、偶像礼拝に。



荒野の羊

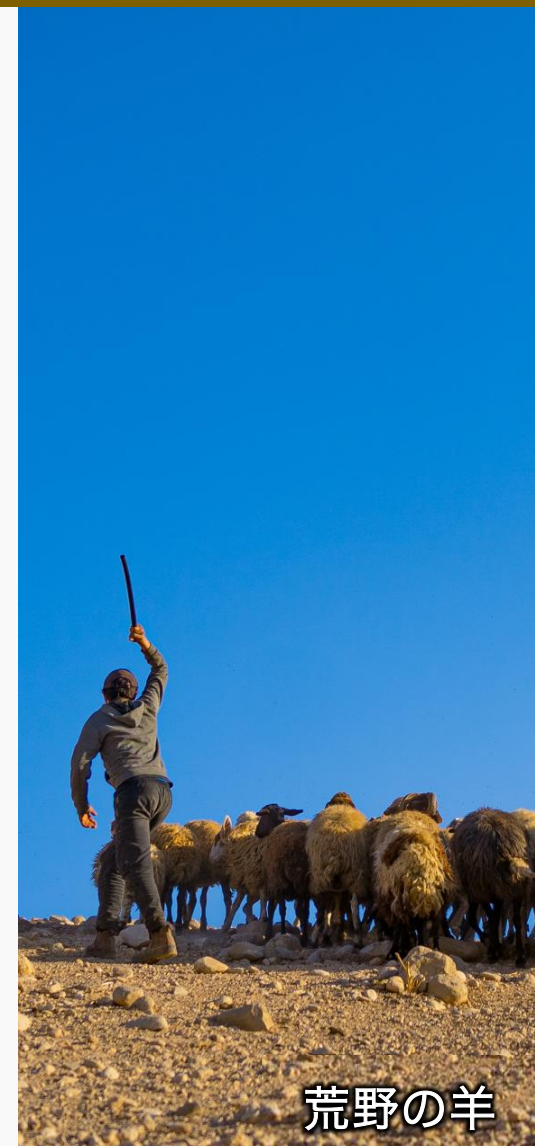
失われた羊 神の目から見たイスラエル

■イスラエル指導者の不義 エゼキエル34:4～6

弱った羊を強めず、病気のものを癒やさず、傷ついたものを介抱せず、追いやられたものを連れ戻さず、失われたものを捜さず、かえって力づくで、しかも過酷な仕方で彼らを支配した。

彼らは牧者がいないので散らされ、あらゆる野の獣の餌食となった。こうして彼らは散らされた。

わたしの羊はすべての山々、すべての高い丘をさまよった。わたしの羊は地の全面に散らされ、尋ね求める者もなく、捜す者もない。



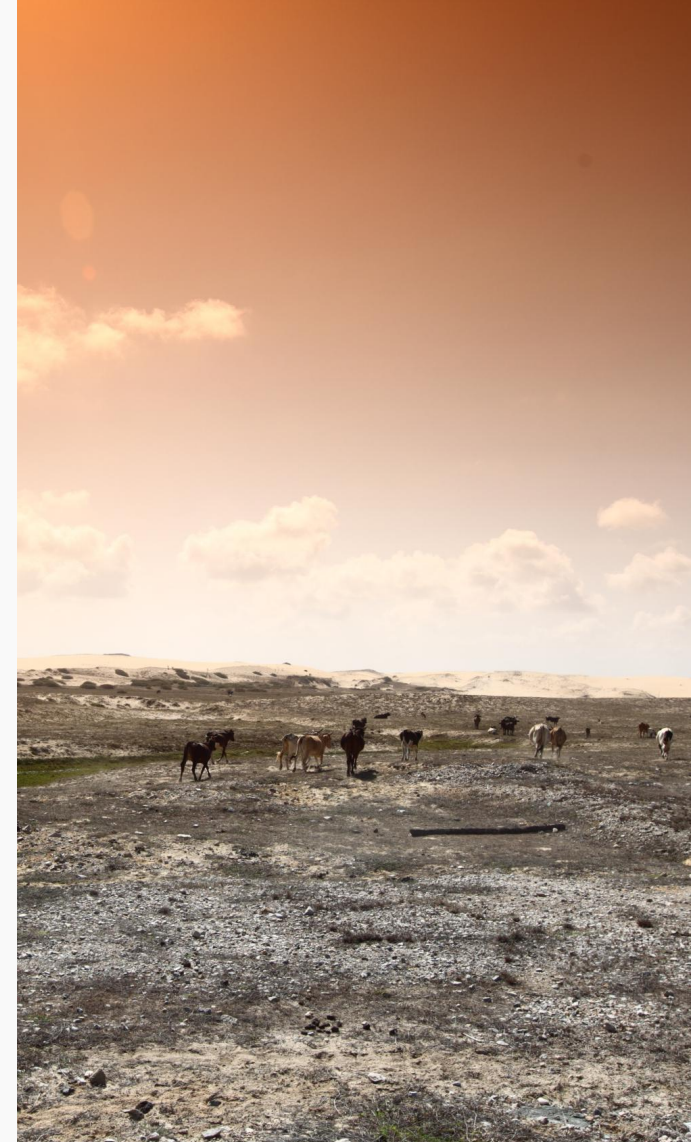
荒野の羊

羊飼い・イスラエル指導者への裁き

■ 偶像礼拝の裁き ゼカリヤ10:2～3

テラフィムは不法を語り、占い師は偽りを見る。夢見る者は意味のないことを語り、空しい慰めを与える。それゆえ、人々は**羊のようにさまよい、羊飼いがいないので苦しむ**。「わたしの怒りは羊飼いたちに向かって燃える。わたしは雄やぎを罰する。」

■ 偶像礼拝の指導者たちは罰を受けた。



メシアから見たイスラエル

■メシアの憐れみ マタイ9:35～36

「それからイエスは、すべての町や村を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気、あらゆるわずらいを癒やされた。また、群衆を見て深くあわれまれた。彼らが**羊飼いのいない羊の群れ**のように、弱り果てて倒れていたからである」

■宗教者は、口伝律法で人々を縛り付けていた。
捕囚の数百年後、失われたままのイスラエル。



荒野の羊

主の日 裁かれる異邦人

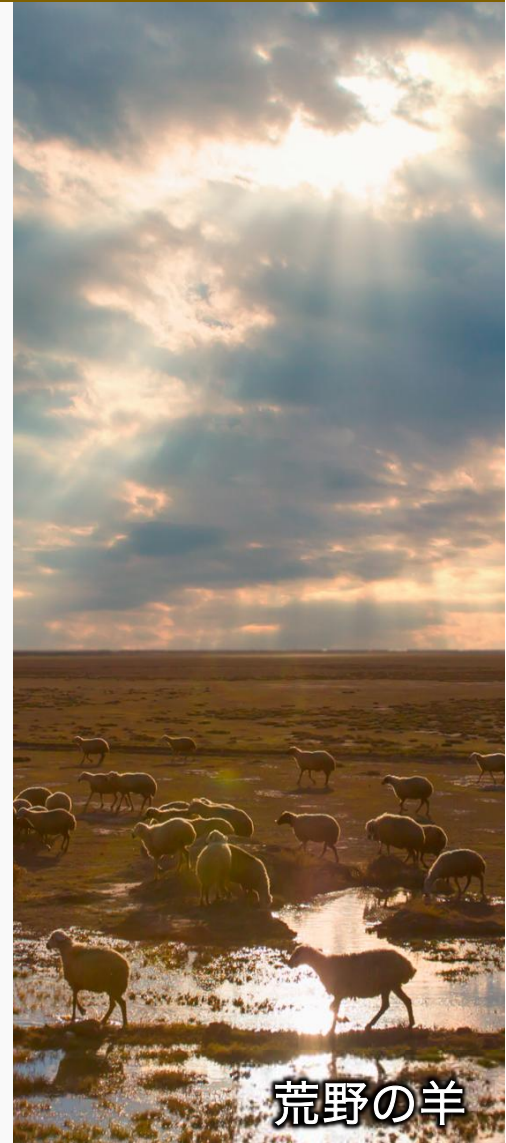
■大艱難時代・バビロンへの裁き イザ13:13～15

それゆえ、わたしは天を震わせる。大地はその基から揺れ動く。万軍の【主】の憤りによって、その燃える怒りの日に。

追い立てられた、かもしかのように、**集める者のいない羊の群れ**のようになって、彼らはそれぞれ自分の民の方に向かい、それぞれ自分の地へ逃げ去る。

見つけられた者は、みな刺し殺され、連れて行かれた者は、みな剣に倒れる。」

■世の終わり。異邦人も羊飼いのいない羊のように。



荒野の羊

真の羊飼いのもとへ イスラエルの回復

■大艱難時代のイスラエルの回復 エレミヤ33:12~14

万軍の【主】はこう言われる。「人も家畜もいない廃墟であるこの場所と、そのすべての町に、**群れを伏させる羊飼いたちの住まい**が再びできる。

山地の町々でも、シェフェラの町々、ネゲブの町々、ベニヤミンの地、エルサレムの近郊、ユダの町々でも、**群れが再び、数を数える者の手の下を通り過ぎる**—【主】は言われる。」

「見よ、その時代が来る—【主】のことば—。そのとき、わたしはイスラエルの家とユダの家に語ったいくしみの約束を果たす。」

■イスラエルの民族的回心。メシア再臨。全イスラエルの帰還。



Ⅲ. まとめと適用 見いだされた羊として 見いだすためにこそ
アネモネの咲く野の羊

失われた羊 イスラエル

- イスラエルは羊。主が羊飼い。
- 主を離れたイスラエルは、失われた羊。
- メシアは、失われた羊・イスラエルへ遣わされた。
- メシアに従ったのは、小さな民イスラエルの中でも、とりわけ小さな者たち。
…漁師、徴税人だった弟子。罪人、娼婦。こども。

主イエスは、失われた羊を回復させるために来られた

今もなお失われた羊であるイスラエル

- 今もなお、イスラエルは、失われた羊。
- メシアを拒み、世界に離散しても、しかし、イスラエルという羊を、主は見捨てられていない。
- 一匹一匹の羊に、差し伸べられた救いの御手がある。
- 世の終わりの大艱難を通して、救いに導かれる。
- 民族的回心を経て、真の牧者であるメシアに立ち返る。
- 真実の牧者である主のもとに、永遠に住まう。

失われた羊・イスラエルは回復される

主はイスラエルの羊飼い

■ 荒野の逃亡のただ中でのダビデの賛歌 詩編23:1～6

【主】は私の羊飼い。私は乏しいことはありません。

主は私を緑の牧場に伏させ いこいのみぎわに伴われます。

主は私のたましいを生き返らせ 御名のゆえに私を義の道に導かれます。

たとえ死の陰の谷を歩むとしても 私はわざわざいを恐れません。

あなたがともにおられますから。

あなたのむちとあなたの杖 それが私の慰めです。

私の敵をよそにあなたは私の前に食卓を整え

頭に香油を注いでくださいます。私の杯はあふれています。

まことに私のいのちの日の限り いくしみと恵みが

私を追って来るでしょう。私はいつまでも【主】の家に住まいます。

異邦人クリスチャンとして

- イスラエルに思いを寄せ、羊飼いなる主の愛を味わい知る。
- 主は、長い年月、どれほど忍耐されて、導かれてきたか。
失われた羊であるイスラエルを、切に招いておられたか。
- ついには、失われた羊のために、愛する御子を使わされた。
- 食卓の下の小犬、接ぎ木された枝でも余りあるほどに、
主の恵みは、私たち異邦人の上にも注がれている。

失われていた私たち

■ 迷子の体験はある？

親、家。馴染みあるものから切り離された心細さ。

■ すべての人は、主の目には、失われた一匹の羊。

■ 私もまた、失われた一匹の羊だった。

二度と主を離れることのないように、

いつでも思い起こそう。

再び見いだされた私たち

■ 迷子を捜した体験はある？

例) 弟。息子。

■ 私たち人ですら、あれほど安堵して喜ぶなら、
主は、どれほどに喜んでくださるか。

■ 一人の罪人が救われる時、天には大きな喜びがある。

ルカ15:7 あなたがたに言います。それと同じように、一人の罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人のためよりも、大きな喜びが天にあるのです。

主に見いだされた者として

■ 見いだされた者として、主を喜ぼう!!

いつでも何度でも、救いの原点に立ち返ろう。
主の最初の愛に堅く立ち続けていよう。

■ 見いだされた者を、主と共に喜ぼう!!

もっと大きな喜びは、他者の救いに立ち会うこと。
失われた者を探し求めておられる主の愛を、
身に迫って味わわされる、その幸いを知っているか？

心に刻むべきは、犠牲の子羊

■ 罪なき御子イエスは、
失われた羊である私たちを贖うため、
犠牲の子羊として、十字架で神から完全に断絶された。

■ 犠牲の子羊なる主イエスは、死んで葬られた。

■ 失われた私たちのために、
イエスは、主から完全に失われた。

心に刻むべきは、失われて復活した究極の子羊

■ 私たちの罪を贖われた犠牲の子羊、主イエスは、死を打ち破って栄光の姿で復活された。

■ 屠られた子羊は、栄光の姿で天の神の右の座におられる。栄光の王として再臨、ついには全世界を新しくされる。信じたすべての者を永遠に主ご自身の羊とされる。

「黙示録22:3～4　もはや、のろわれるものは何もない。神と**子羊**の御座が都の中にあり、神のしもべたちは神に仕え、御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の御名が記されている。」

見いだされた羊が歩むイエスの道

■ 主に見いだされた羊である私たちは、
主イエスの道を歩むように促されている。

➡ 自分の十字架を負い、主イエスの轡を負って。

■ 主が私たちに味わわせようと願っておられるのは、
主に見いだされた喜び以上の、見いだす喜び。

➡ そのために、信仰者には苦難がある。試練がある。

主と共に一人を見いだす喜びを味わい知ろう!!

私たちの歩みの原点

■ 信仰者は不当な苦しみを受ける | ペテロ2:19～21

もしだれかが不当な苦しみを受けながら、神の御前における良心のゆえに悲しみに耐えるなら、それは神に喜ばれることです。

罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。

このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残された。

私たちの歩みの原点

■キリストの十字架の贖い | ペテロ2:22～25

キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。』

★ 見いだされた羊として 見いだすためにこそ ★

■ 主イエスのたとえの焦点は明確に、失われた一匹の羊。
99匹はどうなったとか、考える必要はそもそもない。

■ 見いだされた羊として、失われた羊を見いだすために、
私たちは、世に遣わされている。この使命に力を注ごう。

■ 見いだされた喜び以上の、共に見いだす喜びをこそ、
信仰者の醍醐味として、味わい知らされて行こう。

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

失われていた一匹の羊だった私を、主が見いだしてくださいました。

失われたイスラエルを、主が回復される時を待ち望みます。

見いだされた私たちを、見いだす喜びのために、遣わしてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」